

# ふじざくら



地域における男女共同参画実践活動支援事業成果報告 (1月24日)



企業における男女共同参画実践活動支援事業成果報告 (1月17日)

## 目次

地域実践活動支援事業	2
我が社のワーク・ライフ・バランス	6
チャレンジインタビュー	7
企業実践活動支援事業	8
やまなしパープルリボンプロジェクト	10
日本女性会議2013あなん	11
NWECフォーラム	11
県からのお知らせ	12



# 地域における 男女共同参画実践活動支援事業の事例を紹介します!

## ◆事業の経緯

県では、県民の暮らしの場である地域から男女共同参画社会の実現を推進するため、市町村などと協力して、平成24年度から「地域における男女共同参画実践活動支援事業」を実施しており、知事が10市町村25名の地域推進員を委嘱しました。

それぞれの居住する地域の自治会、市町村の男女共同参画推進委員会、愛育会、NPO法人などで活躍する方々が、「防災・減災」をテーマにして、2年間に様々な取組を進めました。

この事業のテーマ設定にあたっては、地域推進員から喫緊の課題である「防災・減災」に取り組みたいと、声が上がりました。国や県においても、阪神淡路大震災や新潟県中越地震などの経験を踏まえ、「防災計画」や「男女共同参画計画」で、防災への男女共同参画の視点を取り入れることが課題でもありました。

災害への事前対策の有無により、被害レベルに10倍もの差が生じるとも言われますし、東日本大震災後の避難所運営などの災害対策が男性側の目線に偏ったものだったため、多くのトラブルを指摘する声があります。地域住民の生命、財産を守るためには、男性も女性も皆が知恵を出し合い、協力して取り組まなければなりません。

日頃の備えが大切であることは承知していても、具体的な取組に進まない場合が多いと思います。男女共同参画の視点に立ち、それぞれの地域の課題に沿って地域推進員が工夫しながら、苦労しながら取り組んできた事例をご紹介しますので、参考にしていただき、より多くの地域で取組を始めていただけますようお願いいたします。

## ◆事業概要（実施期間：2年間） \*他に男女共同参画推進センターの「出前講座」の利用もあります

### 〈1年目〉

- 1 地域推進員委嘱式及び講演会（基調講演）
- 2 第1回課題研究会（基礎的講座）
- 3 第2回課題研究会（応用的講座）
- 4 第1回ネットワーク会議（課題設定）

### 〈2年目〉

- 5 第2回ネットワーク会議（中間報告）
- 6 第3回ネットワーク会議（活動報告）

## モデル活動地区の取組

### 防災を切り口とした 地域における男女共同参画の実現

- 取組対象地域：南アルプス市 藤田地区
- 地域推進員名：長澤 剛さん  
水上 美里さん  
荻野 百合子さん

#### 取組概要

##### ●取組内容

- 1 藤田地区防災訓練の開催
  - ①藤田地区災害防災ボランティアにて「防災訓練」の企画立案を行う
  - ②藤田地区自主防災会にて「防災訓練」の実行計画を審議決定
  - ③組長会議で各組長の役割分担を確認する
  - ④防災訓練を実施し、訓練後に防災講話とアンケートなどを行う
- 2 若草南小学校（藤田地区・浅原地区）地域防災連携協議会の推進  
市指定避難所対象地域で協議会を立ち上げ、事務局会議等を行う
- 3 地域防災講演会の開催  
県の出前講座を利用し、学校と自治会の連携による地域防災のあり方について学ぶ



##### ●今後の予定

藤田地区・浅原地区・若草南小学校が連携して、地域の防災を考えていく防災訓練を継続して実施する予定

#### 男女共同参画の視点

- ・単なる女性参加にとどまらず、積極的な意見交換を行う場とすることを意識した。
- ・地元出身、他所転入者にかかわらず老若男女が多様な考えや意見を言える様な活動へ繋げていく。

## 「井之上地区減災マップ」作成委員会の活動について

- 取組対象地域：笛吹市御坂町井之上区
- 地域推進員名：根津 和彦さん

### 取組概要

#### ● 取組内容

井之上地区では、2年間で11回の委員会を開催し、県の事業による出前講座の活用やグループワークにより、自主防災組織の設置まで取組を深め、地域の防災力を高めた。

- 1 初動規定の作成  
災害発生時にまず何をすべきか、震度5以上の地震の発生時を予測して作成
- 2 減災マップの作成
  - ①一時避難場所の見直し
  - ②指定避難場所への避難ルート決定
  - ③要援護者のリストアップ
  - ④医師、看護師のリストアップ
  - ⑤危険箇所の洗い出し
  - ⑥消火栓等の位置確認
- 3 初動規定・減災マップに基づいた防災訓練計画の作成
- 4 初動規定・減災マップに基づいた防災訓練の実施
- 5 初動規定・減災マップを印刷し、全戸に配布

#### ● 今後の予定

井之上地区自主防災組織の立ち上げを予定している。



### 男女共同参画の視点

- ・井之上地区減災マップ作成委員会の構成メンバーに、自治会役員や消防団員など男性だけでなく、女性の協力員を募り、安全協会婦人部などからも女性が参加するなど、男女双方の視点でマップ作成から組織立ち上げまでを行った。

## 避難所の備蓄品の整備及び災害時の速やかな避難所の立ち上げについて

- 取組対象地域：甲州市勝沼町 勝沼4区  
(自主防災会)
- 地域推進員名：小林 陽子さん  
寺島 民子さん

### 取組概要

#### ● 取組内容

- 1 意識啓発  
平成24年度甲州市男女共同参画推進フォーラムにおいて、男女共同参画推進員会、都市整備課、総務課が連携して「防災・減災」をテーマに消防・防災関連の展示や寸劇などを行い、市民に対しての災害に対する意識啓発を行った。
- 2 テーマ設定  
勝沼4区での避難所運営のあり方について、地域推進員が協力して体制づくりと備蓄品等の整備を行うこととなった。
- 3 初動規定の作成  
住民などに対して、「防災・減災」についての講座を開催し、災害に対する知識を深めてもらい、高齢者が多い、古い建物が多い、道幅が狭いなどの地域の特性を考慮した上で、シンプルで分かりやすい初動規定を作成して、区会で検討を行う。

#### ● 今後の予定

初動規定を元にして、区の集会所を一時避難所として避難訓練を行い、得られた課題を検証して運営方法などを改善していく。



### 男女共同参画の視点

- ・既存の自主防災会（組織）に女性の地域推進員2名が参加し、市の関係課や男女共同参画推進委員会、自治会や消防団などのパイプ役として連携を図りながら、取り組みを進めている。

## 各地区の取組



### 「防災計画」策定の検討

- 取組対象地域：甲府市新紺屋地区武田二丁目自治会
- 地域推進員名：小川 はるみさん・堤 勝弥さん

#### 取組概要

武田二丁目自治会「防災計画」を策定する準備を進める上で、女性も含め住民の意見を広く取り入れるような自治会内の体制を確立し、計画の策定に取り組んでいく予定。

#### 男女共同参画の視点

- ・休部状態だった「女性部」を復活させ、その代表が自治会の意志決定に関われる環境を整えていく。



### 自主防災組織の立ち上げなどについて

- 取組対象地域：富士吉田市上吉田中宿、小明見地区
- 地域推進員名：川村 克美さん

#### 取組概要

上吉田中宿連合自治会の役員会及び小明見地区の自主防災組織検討委員会に地域推進員として参加することとなり、地域の防災の取組に関わる体制が整った。また、富士吉田市男女共同参画推進会議のH25年度の重点活動として、「女性の視点から見た自主防災の啓蒙・啓発」に取り組むこととし、講演会や取組内容の発表などを行ったほか、市の防災担当課と連携し、自主防災組織構築を推奨する働きかけを行っている。

#### 男女共同参画の視点

- ・男性主体の防災活動に、女性の視点を大切にしながら積極的に参画している。



### 地域の命を守る防災・減災の取組

- 取組対象地域：甲斐市竜王新町5区自治会
- 地域推進員名：清水 喜美男さん

#### 取組概要

地域、人、建物、自然など命を取り巻くあらゆる要因をMAPという形で見える化し、自助・近助体制を構築する。

今後は、具体的行動訓練を含めた実践活動を行う予定。取組にあたっては、民間企業と避難場所の協定を締結したり、実際に地域を歩き、また夜間にも活動して得られた情報を十分に活用した。

#### 男女共同参画の視点

- ・<1>防災・減災における3つの対応（①高齢化、②孤立化、③温暖化）と、3つの行動（①意識を変える、②知識を増やす、③行動を起こす）に留意して取組を推進した。また、地域でのコミュニケーションが活発になり、様々な事業が実施できた。



### 防災・減災マップの作成

- 取組対象地域：甲斐市つくし野自治会
- 地域推進員名：福岡 直也さん

#### 取組概要

どんな対策が必要なのかを検討するため、アンケート調査を実施、調査結果を分析し、防災・減災マップを作成する上での課題を整理した。また、甲斐市社会福祉協議会が推進しているいきいきサロンをベースに、自治会と、有志で結成した長寿者会とで協力して作る新たな組織で防災・減災マップの作成を継続する。

今後は、完成したマップをつくし野自治会に配布していく予定。

#### 男女共同参画の視点

- ・一つの自治会の枠組みを超えた組織で、男女が協力しながら様々な視点も交えてマップ作成を行った。



### 避難所の運営について

- 取組対象地域：甲斐市境区
- 地域推進員名：但田 孝子さん

#### 取組概要

昨年度から、境区住民会議（女性有志）の活動に防災の取組を加えるよう協力依頼し、甲斐市男女共同参画推進委員会の減災研修会場に境区公民館を利用して、地域住民も参加して実際に避難訓練を行うことが出来た。今後は、地域住民の理解を深めるための防災・減災に関する学習会の実施や啓発チラシ配布などで、まずは意識啓発活動などを行う。

#### 男女共同参画の視点

- ・通常防災活動に関わることのない女性地域推進員が主体となって、市の男女共同参画推進委員と連携して、地域住民の同意を得ながら避難訓練を行った。



### ママ・パパ達の防災意識アンケート

- 取組対象地域：笛吹市
- 地域推進員名：星合 深妃さん・武井 美津江さん

#### 取組概要

未就学児の保護者などを対象に、「ママ・パパたちの防災意識アンケート」を作成・実施した。得られた結果を分析し、「ママ・パパたちのための防災チェックシート」を作成・配布し、子育て中の保護者に特化した取組を進め、安心して暮らせる地域づくりに役立てていく予定。

#### 男女共同参画の視点

- ・男性、女性に限らず、特別な支援が必要と考えられる子育て中（未就学児）の保護者に特化して取組を進めた。

## 防災チーム5人組

- 取組対象地域：富士川町青柳5丁目38組
- 地域推進員名：永井 寛子さん

### 取組概要

- ・災害時に連帯して助け合うため、組の中の3～5軒を一つの班として共助の組織を作る。
- ・発災時、班のリーダーの元、班員が声掛けをしながら避難所に向かう。
- ・災害時に必要な3日分の備蓄品を日頃から整えておく。
- ・日頃から要援護者などの必要な個人情報を班の中で共有し、組長が情報管理する。
- ・訓練と防災倉庫の点検・充実を継続していく。

### 男女共同参画の視点

- ・リーダー的立場を女性が積極的に担うこと。
- ・男女が協力し合って役割分担しながら、独自の方法で3日間生き延びる戦術を作ること。

## 西条一区防災マップ作成

- 取組対象地域：昭和町西条一区
- 地域推進員名：田中 憲治さん

### 取組概要

平成24年4月に、区長が区の自主防災組織内に「防災リーダー」6名を置き、防災マップ作成の取組を進めた。平成25年11月下旬に区内の危険箇所などを記載した「防災マップ」を作成し、各戸に配布した。今後も区内に「防災リーダー」を置き、活動を継続していく予定。

### 男女共同参画の視点

- ・女性、子ども、障害者の視点を意識してわかりやすい防災マップの作成に当たった。

## 昭和町西条二区の自主防災組織づくり

- 取組対象地域：昭和町西条二区
- 地域推進員名：篠原 頼子さん

### 取組概要

災害時に身近なグループでの助け合いが有効と考え、「向う三軒両隣作戦」として、組の中で5世帯を基準として1つの班を編制し、全体の班編制表を作成して班の構成を把握できるように工夫した。また、安全かつ速やかな避難が出来るよう、避難経路などを班単位で考えながら避難訓練を実施した。今後、高齢者や要介護者への対応も考慮しながら取組を継続していく。他の地域でも同じ取組を継続していく予定。

### 男女共同参画の視点

- ・班長または副班長に女性を起用することとした。

## 自主防災組織の立ち上げなどについて

- 取組対象地域：山中湖村
- 地域推進員名：河内 晶さきさん・天野 みどりさん  
高村 絹枝さん・槌屋 明美さん

### 取組概要

第4次山中湖村いきいきプラン（男女共同参画計画）中に、防災・減災活動における共同参画に関する事項を、防災関連講演会を開催して理解を深めながら、新たに加えた。

### 男女共同参画の視点

- ・過去の様々な災害のケースに学び、災害時、またそれ以降に女性であるがための不利益を被らないよう、女性の視点を計画（プラン）に取り入れ、男女共同参画に基づく対策となるよう努めた。

## 防災・減災マップの作成

- 取組対象地域：富士河口湖町船津七軒町三丁目自治会
- 地域推進員名：藤井 誠さん

### 取組概要

自治会の対象地域を歩いて回り、危険箇所などの目視調査を行い、得られた情報を元にしてマップの構成案の作成を行った。今後は、自治会と取組内容の進め方を確認しながらマップ作成を順次行っていく予定。

### 男女共同参画の視点

- ・女性、子ども、障害者の視点を意識して防災マップの作成に当たっている。

## 避難所運営について

- 取組対象地域：富士河口湖町大石地区
- 地域推進員名：堀内 恵一さん

### 取組概要

避難所運営に対する知識を深めるため、まずは区長、組長、民生委員などに対して講演会を行う。その後、実際の避難所の状況を確認した上で、各組長にHUG（避難所運営ゲーム）を使用して訓練を実施し、理解を深めてもらう。今後、区長会長などと話し合いを行う中で具体的な進め方を順次決定していく。

### 男女共同参画の視点

- ・これまでの災害時に指摘されてきた、避難所における女性の視点を意識して避難所運営を考えていく。

# 我が社のワーク・ライフ・バランス Vol.5

生活協同組合パルシステム山梨 (甲府市) ワーク・ライフ・バランスに取り組む企業を紹介します!

## 企業概要



所在地	〒400-0051 山梨県甲府市古上条町225-1		
TEL	055-243-6327	FAX	055-243-6359
職員数	180名 (男性82名:女性98名) 理事長 白川 恵子		
出資金	17億円	事業高	60億円
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●無店舗事業 (注文食材を玄関先までお届け)</li> <li>●店舗事業 (フェアトレード商品の販売)</li> </ul>		
その他	2011年 くるみんマーク認定 山梨県男女共同参画推進事業者表彰 甲府市子育て応援優良事業者認定・表彰 均等・両立推進企業表彰、ファミリーフレンドリー企業部門・山梨労働局長奨励賞 2013年 2度目のくるみんマーク認定 <a href="http://www.palsystem-yamanashi.coop/">http://www.palsystem-yamanashi.coop/</a>		

## ● ワーク・ライフ・バランスに取り組む経緯

パルシステム山梨は、食の安全・安心をモットーに県内約4万人の組合員の皆様にご利用をいただいています。組合員の皆さんは、家庭の主婦の皆様が中心ということで、家庭への宅配を本格化した92年より女性がいきいきと暮らすことのできる地域、社会づくりにも積極的に取り組んできました。現在は、生協組織の見直しを進める中で、役員ならびに組合員活動のすべてを主婦の皆様にご担っていただいていることもあり、女性が働きやすい環境づくりを共に考え、ワークライフバランスの推進に取り組んでいます。

## ● 我が社の取組内容・考え方

男女共同参画を考える上の1つに男性の家事、育児に対する理解が必要です。そのため、特に力を入れてきたことは、男性職員の育児休暇の取得です。初の取得者は、2000年12月、中核を担うリーダー職員が4か月間の育児休暇を取得したことが始まりで、その後は特に管理・監督者の取得を積極的に呼びかける中で、男性職員の育児休暇の取得を推進しています。また、今年度は子育て中のお父さんを対象とした「イクメン講座」を開催する中で、家事や育児に対しお父さん同士の交流の場も設けています。

あわせて各事業所内にも保育室を併設し、地域の子育て団体の協力も得る中で必要に応じて職場内保育が利用できる「ハッピー応援団制度」やノー残業デー、半休制度導入など働きやすい職場環境の整備も進めています。

## ● ワーク・ライフ・バランスに取り組んだ成果など

仕事と家庭、育児や余暇を大切に考える職員が増えてきていることです。

### パルシステム山梨 育メン紹介

大切な妻と子供のために帰宅後は洗濯や家事手伝いの毎日!仕事と家事をしっかりとこなすパルシステム山梨育メンNO1! ☆  
芦沢職員



夫婦ともに職員であることから、ハッピー応援団制度を巧みに利用。仕事と子育てを両立する育メンパパ ☆  
山本課長代理



イクメン講座の様子  
25名が参加



パルシステム山梨では、2011年に次世代育成支援対策推進法に基づいた行動計画を策定する中で、一般事業主認定を受け、「くるみんマーク」を取得し、今年度は県内では初となる2度目の取得も行うことができました。

# チャレンジインタビュー

Vol.55

## 【農業・林業】農家の女性が企画！ ～富士山の麓で学ぶ歴史と農～ツアー

(写真左から)

わたなべ せいこ  
渡辺 生子さん 山梨きら星ネット(鳴沢村)

さとう ひろこ  
佐藤 裕子さん 山梨きら星ネット富士・東部ブロック代表(富士吉田市)

おさかべ あきこ  
刑部 章子さん 富士吉田市食生活改善推進委員会代表(富士吉田市)



### 「農村女性による農村資源活用事業」 について

#### 【事業の目的】

▶農村女性が農村の活気を盛り上げ発展させるため、直売所での加工品販売中心の活動から、女性ならではの新たな視点として、商工業者等と連携し、農村資源を活用した都市農村交流の実施等、新たな事業起しを県が支援するものです。

#### 【事業の内容】

①農村女性と商工業者等とのネットワークづくり

#### ②交流プログラムの開発と新たな事業起し

▶今回、観光だけではなく、地域の魅力を「農」を通じて都市部の人たちに伝えるため、普段から農業や食生活の推進に携わっている女性がツアーを企画・実施しました。

### ■ 一からの企画！～地域の食、農業体験、観光が結びついたツアー～

今回のツアーの企画にあたっては、何度も会議や打ち合わせを行いながら中身を詰め、「地域の食べ物と農業体験と観光が結びついた」ツアーとなるよう内容を考えました。

まずは、世界文化遺産に登録された富士山の構成資産である「御師住宅」や「浅間神社」の観光です。

毘沙門屋の御師の方に当日の説明を依頼し、富士山や御師の歴史などについてお話いただきようお願いします。

観光終了後は、地元の野菜をふんだんに使った御師料理を皆さんに御師の家で食べていただきました。

調味料や肉、魚など無いものだけを買うことにしましたが、ほとんどの材料はネットワークの中でまかないました。料理一つ一つに歴史に裏付けられた意味があり、貴重な季節のものを大事に食べたという思いを参加者の皆様に伝えるため、御品書きも付けることとしました。

そして、最後に農業体験として晴天時はとうもろこしの収穫、雨天時は鳴沢村名産のブルーベリージャム作りの準備をしました。鳴沢村のブルーベリーはここ10年ぐらいの取組ですが、観光摘み取りのほか、品種も検討しながら手作りのジャムや羊羹、ジュースなども作っているの、参加者の皆様にもぜひ味わっていただきたいと考えました。

### ■ いざツアー当日！～参加者の皆様を精一杯おもてなし～

ツアー当日は、県内外から33名の方に参加いただきました。当日は前日の台風が嘘のような晴天でしたが、台風でとうもろこしが倒れてしまったこともあり、雨天用に準備していたブルーベリージャム作り体験に変更しました。

ツアー参加者を見分けるため、カラマツの実とリボンで作ったコーサージュを配布して、いざツアーの始まりです。参加者は大月に集合し、富士吉田市の会場まではバスで移動です。バスの中では、それぞれの地域の簡単な紹介などを行いました。ツアーのガイドも全て自分たちで行いました。初めてのことなので緊張しましたが、参加者の方々に喜んでもらえるよう頑張りました。

御師料理も参加者とスタッフ合わせて50名の料理を作るため、前日には下準備をし、当日も朝から準備をしました。今回出した料理は、地元の人たちが普段食べているものがほとんどなのですが、椿の葉など季節のものを添えるなど彩りや盛りつけも工夫しながら、食べる人のことを考えて一つ一つ作りました。現地でも「おいしい」という声が多かったので、安心しました。

鳴沢村まで移動するバスの中では、当日とうもろこしの収穫ができなかったこともあり、2本ずつ参加者にお土産として渡したほか、小さく切ったとうもろこしやブルーベリージャムの試食も行い、参加者の方に喜んでいただくことができました。ジャム作り体験も好評でした。ジャム作りの時にもブルーベリーのゼリーやジュースを振る舞うなど、ただただ皆でおもてなしをしました。時間管理など大変な面もありましたが、参加者の皆様に地域の魅力を知ってもらい、楽しんでいただくことができたので良かったです。

今回のツアーを通して、自分たちでできることには限りがありますが、それでも皆様に喜んでいただけることが分かりましたので、受け入れ体制ができれば他の内容にもチャレンジしても良いと思いました。

また、私たち自身も地域の魅力を再発見する機会となり、とても勉強になりました。

### ■ 今後のチャレンジ！～「農」と「食」をもっと知ってもらうために～

「子どもと一緒に何かしたい」という思いから、今も高校生や小学生と一緒に野菜作りや田植え体験を行っています。小さいときから農業体験を行うことで、印象に残ると思いますし、農業に興味を持ってもらえたら嬉しいという思いもあります。いろいろな体験が注目されている中、農業体験には癒しなど精神的にも良い面があると思いますので、そういう部分でも何かできればと思っています。子どもたちも自分が育てたものは意外と食べるので、野菜嫌いも少なくなり、農業体験では農産物の匂いや作ることの大切さ、虫の付いている農産物の安全性、おいしさなども教えることができます。農業体験を通じて、子ども、大人へとさらに地域の「農」や「食」のことをPRしていけたら良いと思います。

#### ジャム作り体験



#### 御師住宅



#### 御師料理



### これからチャレンジする女性へのメッセージ

一人ではなく皆を巻き込んで、「とにかく実行すること」が一番だと思います。いろいろな人に声をかけると、協力が得られたり、意見やアドバイスをいただいたりすることもできます。

頭の中で計画を描くことと、実際に行動することでは違うこともあります。まずは失敗しても良いという気持ちで、実行してみたら良いと思います。

Vol.54以前のインタビューは、やまなし女性の応援サイト  
<http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/interviewlist.php>をご覧ください。

# 企業における男女共同参画実践活

誰もが性別や年齢にかかわらず能力を発揮し働き続けることができる職場環境の実現を目指し実施しました企業にお

## H24年度からH25年度の2年間取組を行った企業

### 株式会社エスエスワイ

所在地	〒403-0016 山梨県富士吉田市松山1249番地1		
TEL	0555-22-2184	FAX	0555-22-2194
社員数	83人（男性66人：女性17人）		
事業内容	◆SIサービス事業、アプリケーションソフト開発、製品開発・販売、エンジニアリングサービス、アウトソーシングサービス		

#### 取組内容

従業員の意識調査（アンケート）の実施、意識調査の結果分析による現状把握

#### 成果

当日の朝礼やグループウェアでの呼びかけによりノー残業デーが徹底されてきています。夏期休暇および年末年始休暇に連続して有給休暇を取得することにより有給休暇取得を促進することができました。長時間残業対象者の健康相談を実施し社員の健康管理にも力を入れています。



#### 職場の声

テクニカルソリューション事業部 MTさん

ノー残業デーが徹底されたことで、平日でも子どもとの時間がとれるようになりました。

社員全員が働きやすい職場作りを目指し、取組を進めています。

### 社会福祉法人ゆうゆう すみよし愛児園

所在地	〒400-0851 山梨県甲府市住吉3丁目24番地20		
TEL	055-237-4101	FAX	055-237-4124
社員数	37人（男性3人：女性34人）		
事業内容	◆保育園の運営、子育て支援センターの運営 など		

#### 取組内容

職員のスキルアップ、業務内容（分担）の見直し、ライフスタイルに合わせた雇用、複数同規模保育園の運営による人事異動や交流の実施

#### 成果

職員一人一人のライフスタイルに合わせた働き方が選択できるようになりました。業務内容や分担なども見直すと共に、研修への参加など全職員がスキルアップできる環境も整ってきています。



#### 職場の声

保育士 Kさん

働き方が相談できるので安心して働けます。お互いの業務に対する理解も深まってきました。

すべての職員がよりいきいきと働ける職場を目指し、取組を進めています。

### フルーツ山梨農業協同組合

所在地	〒404-0045 山梨県甲州市塩山上塩後1100		
TEL	0553-32-6500	FAX	0553-32-6509
社員数	409人（男性241人：女性168人）		
事業内容	◆果樹を主体とした野菜・花卉・椎茸類・畜産等の生産・販売など		

#### 取組内容

上部管理職の協力・理解への浸透→接遇の強化→勤務形態報告の見直し→朝礼・夕礼の実施→電子提案箱の活用→パイザーによる支所巡回→リフレッシュ休暇の実施→研修会の開催

#### 成果

職員からゆとりの時間の増加、業務への意欲の向上、職場が楽しいという声があがっています。お客様からの挨拶、職場環境へのお褒めの言葉をいただいています。



#### 内部講師による研修会での職場の声

Dさん

自分たちで職場を変えていく、作っていく事が大切だと思いました。

次代につなぐ...想い『JAフルーツ山梨』がもっともっと一体となるよう、取組を進めていきます。



# 勤支援事業の事例を紹介します!

ける男女共同参画実践活動支援事業を活用し、企業内の課題解決に向けた取組を実施してきた6社の事例を紹介します。

## H25年度の1年間取組を行った企業

### 株式会社アトム薬局

所在地	〒400-0404 山梨県南アルプス市古市場621番地		
TEL	055-284-8393	FAX	055-282-9324
社員数	41人（男性10人：女性31人）		
事業内容	◆調剤薬局		

#### 取組のきっかけ

業務内容が専門的なため、お互いの業務の詳細が見えにくいという状況がある一方、責任感が強く業務を抱え込んでしまい残業が多くなったスタッフがいたため、その状況を解消し、より働きやすい職場にしたいと考えました。

#### 取組中の内容・今後の取組予定

専門的な業務のため担当以外の業務を把握しにくいことに対し、各スタッフの業務内容を洗い出し、その内容をスタッフ間で共有することで、お互いに助け合えるような体制を作ろうと取組を進めています。



#### 我が社のPR

「地域の皆様の健康実現に貢献します」を企業理念とし処方箋調剤・健康相談・高齢者医療への参加など、地域の視点にたち、皆様の安心安全な生活の実現に貢献しています。

スタッフの意識改革と働きやすさの追求を目指し、取組を進めています。

### 株式会社イワタニ

所在地	〒406-0835山梨県笛吹市八代町米倉1267-1		
TEL	055-265-1871	FAX	055-265-1870
社員数	35人（男性30人：女性5人）		
事業内容	◆断熱パネル、プレハブ式冷凍冷蔵庫用断熱パネル、クリーンルーム用パネル、防音・シールドルーム用パネルの製造・販売・施工		

#### 取組のきっかけ

残業時間削減のため人員を増やしたが、削減されていません。

#### 取組中の内容・今後の取組予定

個別ノー残業デーを設定し、社員への徹底を図っています。また、残業理由であるミスの削減に向けた勉強会を開催し、よい提案を行った社員にMVP賞を贈り合う制度を導入するなど工夫を重ねています。



#### 我が社のPR

安全で環境に優しい、さまざまな空間を創造し、人を輝かせるオンリーワン企業をめざします。

社員が能力を発揮し、楽しく仕事に取り組めるよう取組を進めています。

### 山梨勤労者医療協会 甲府共立病院

所在地	〒400-0034山梨県甲府市宝1丁目9-1		
TEL	055-226-3131	FAX	055-226-9715
社員数	460人（男性125人：女性335人）		
事業内容	◆医療業務（病院の運営）		

#### 取組のきっかけ

病院は女性が多く働く職場であり、育児をしつつ、正職員として働き続けるために、事業所としてどのように支援するかが、重要な課題です。

#### 取組中の内容・今後の取組予定

看護師のワーク・ライフ・バランスを推進するため、職員アンケートの実施、結果分析、分析を基にした対策の検討、対策の実施を順次行っています。現在は、残業削減のため、看護部門では、残業しない意識改革と業務改善に取り組んでいます。また、夕方の医師の子どもの保育園へのお迎え援助とその後の保育についても検討を行っています。



#### 我が社のPR

「貧富の差によって生命の尊さが差別されてはならない」を基本に、地域のひとびと、医療・福祉機関と連携し、いつでも誰にでも安全安心な医療・福祉をめざします。

子育て支援、介護支援を充実させ、働きやすい職場づくりを目指します。

広げる・つなげる・結び合う

# やまなしパープルリボンプロジェクト



県では11月12日から25日の『女性に対する暴力をなくす運動』期間に合わせ、DVのない社会の実現のために「やまなしパープルリボンプロジェクト」と題して、次のとおり事業を実施しました。

プロジェクト  
その1

## DV防止啓発講演会を開催しました!

### 『子どもと虐待 ～私たちにできること～』

県では、多くの方にDV防止の必要性や被害者支援について知っていただくことを目的に毎年講演会を開催しています。

今年度は、DVや子どもへの虐待を身近な問題として考えてもらうために、エンパワメント・センター主宰の森田ゆりさんをお招きし、講演をいただきました。

配偶者からの暴力の現状や本質、怒りの裏にある感情、DVと子どもの虐待の関係等についてお話をいただき、充実した講演会となりました。



森田 ゆりさん  
(エンパワメントセンター主宰)

米国と日本で、子ども・女性への虐待防止専門職の養成に30年以上携わり、現在は行政、企業、民間の依頼で、多様性、人権問題、虐待防止などをテーマに日本全国で研修活動を行っている。

プロジェクト  
その2

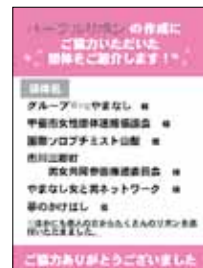
## パープルリボンの募集と企画展示を行いました!

DVなどの暴力を家庭・学校・地域からなくすために、「DVは絶対にダメ!」「被害者を応援したい!」という思いを込めたパープルリボンを県民の皆さまから募集したところ、多数のリボンを送付いただきました。

皆さまからいただいたリボンは、一つの作品に仕上げ、DVに関する情報とともに山梨県立男女共同参画推進センターに展示しました。



H25年度作品



プロジェクト  
その3

## パープルライトアップを実施しました!

11月12日から25日の『女性に対する暴力をなくす運動期間』に合わせ、商業施設ココリ様にご協力をいただき、パープルライトアップを実施しました。

11月12日及び「女性に対する暴力撤廃国際日」である25日の2日間女性に対する暴力防止のシンボルであるパープルリボンにちなんで、北側壁面を紫色にライトアップしていただきました。



## 配偶者暴力防止法(DV法)が改正・施行されました!

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律の一部を改正する法律」が平成25年6月26日に成立し、同年7月3日に公布、平成26年1月3日に施行されました。

今回の改正によって、**生活の本拠を共にする交際相手からの暴力及びその被害者についても、配偶者からの暴力及びその被害者に準じて、法の適用対象とされる**こととなりました。

また、法律名が「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」に改められました。

県でも第2次DV基本計画が平成25年度をもって計画期間が終了となることから、現在第3次DV基本計画の策定に向けて作業を行っています。第3次DV基本計画は平成26年度からスタートする予定です。

# 男女共同参画事業の体験レポートです。

## 『日本女性会議2013あなん』に参加しました



### いきいき わくわく 小さなまちから新たなステージ!

10月11日、12日と、徳島県阿南市において開催された「日本女性会議2013あなん」に参加しました。初日は、「介護と地域医療」、「防災」、「子ども」、「まちおこし」、「セカンドライフ」、「食育」、「ワーク・ライフ・バランス」、「農林漁業」、「DV」の9つの分科会に分かれ、各会場ともコーディネーターの進行によりパネリストから問題提起や事例の紹介などが行われ、会場からも意見・報告があり活気に満ちた会となりました。夕方から行われた交流会では、大会長である岩浅阿南市長が、今大会は「いきいき わくわく 小さなまちから、新たなステージ!」を大会テーマとし、人口8万人に満たない阿南市市民と企業・行政が一体となり、スタッフ・ボランティアが全国からの参加者を心からおもてなしすることを熱く語りました。

2日目は、開会式後、佐村内閣府男女共同参画局長が基調報告を行った後、徳島県出身の料理研究家「浜内千波さん」が記念講演を行いました。手作り料理を仲立ちとした家族の心のつながりを、栄養の話しを交えながら軽妙に語られました。午後は、30周年記念シンポジウムとして、「渥美由喜さん」ほか3人のパネリストと急ぎょ代わってコーディネーターを務めた「市場恵子さん」の進行により、それぞれの活動分野についての紹介や男女共同参画、ワーク・ライフ・バランスの視点などについて意見が交わされました。興味深い話しも多く、有意義な時間となりました。

山梨県からは女性団体協議会を中心としたグループや男女共同参画推進センターが参加を募った市町村推進委員会のメンバーなど多くの方が参加されました。この貴重な経験、学びが今後の男女共同参画の推進に生かされることを願うものです。

## NWEC男女共同参画推進フォーラムに参加しました

男女共同参画を推進する行政担当者、女性団体やNPOのリーダー及び大学や企業において組織内のダイバーシティ、女性の活躍を推進する担当者等が一堂に集まり、課題の共有と課題解決のための方策を探る研修や、組織分野を越え、連携・協働して男女共同参画を推進するためのネットワーク形成を図るための「男女共同参画推進フォーラム」が国立女性教育会館で開催されました。

今年度は8月22日から24日の3日間にわたり開催され、今回参加した甲府市男女共同参画推進委員会に感想を伺いました。次はあなたも参加してみませんか!?

### 甲府市男女共同参画推進委員会

#### NWECフォーラムでワークショップを持ちました

甲府市男女共同参画推進委員会は2年に一度NWECフォーラムでワークショップを実施することになっています。委員任期最終年に委員会活動の主なものを発表し、全国からの出席者と意見交換をするという形式です。目的は全国規模のフォーラムで活動の客観的検証を行うこと、その準備期間を含め委員のエンパワーメント、情報収集が出来る、などです。今年度は3期の発表の年に当たり2013年8月23日(金)にワークショップを持ちました。テーマは「男女共同参画都市宣言、その心は」。甲府市は6月に県下で4番目に都市宣言を行いましたので、その経緯と今後の課題を寸劇形式で発表しました。出席者は北海道、茨城、埼玉、長野などから15名、参加委員は11名、事務局3名、合計29名で行いました。出席者の出身都市では都市宣言を実施したところはありませんでしたが、男女共同参画の基本的な課題について3グループに分かれ自由に語り合いました。北海道の出席者から「推進委員会のメリットとデメリットは?」という質問があり事務局と推進委員から回答しましたが、核心に迫る良い質問でした。

NWECのワークショップ数や参加者は年々減少しているようですが、学ぶことも多く甲府からは距離的にも近いので今後もこの活動は継続して行きたいと思います。

(甲府市男女共同参画推進委員会 小川はるみさん)



# 県からのお知らせ

## その1

### 「子育て応援・男女いきいき宣言」企業を募集しています!

山梨県では、「子育て応援・男女いきいき宣言」企業として、その宣言内容を県のホームページなどで広く紹介します。

右のいずれかに取り組んでいる、または取り組むことを宣言する企業や団体を、「子育て応援・男女いきいき宣言」企業として登録していますので、皆さまからの応募をお待ちしています。

- 1 仕事と家庭が両立できる職場環境をつくるための取組
- 2 社会全体で子どもや子育てを支えるための取組
- 3 男女がともにいきいきと活躍するための取組
- 4 その他の取組

詳細は、県民生活・男女参画課のHPをご覧ください。

▶ <http://www.pref.yamanashi.jp/kenmin-skt/30054557987.html>

## その2

### 「男女共同参画啓発パンフレット」を活用ください!

県では、お互いの人権を尊重し、喜びも責任も分かち合いつつ、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる『男女共同参画社会』を目指し、さまざまな啓発資料を作成しています。

各市町村、図書館、学校等にも送付していますので、ぜひご利用ください。



『やまなし女性の応援サイト』  
ご利用ください!

●やまなし女性の応援サイトでは、チャレンジする女性に役立つ講座やイベントの情報、支援機関の紹介、現在チャレンジしている方のインタビュー記事を掲載し、チャレンジするあなたを応援します!

詳しくはこちら

▶ <http://www.pref.yamanashi.jp/challenge/index.php>

## 編集後記

今年度もあっという間に残りわずかとなりました。寒い毎日を乗り切り、ようやく春の暖かさが近づいてきた気がしています。

今回は、昨年度からスタートしました地域・企業の実践活動支援事業に参加いただいた方々の活動内容をご報告させていただいています。ぜひ県内の皆様にも参考にしていただけると幸いです。



## 編集・発行

山梨県 企画県民部 県民生活・男女参画課

〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1 Tel. 055-223-1358 E-mail : kenmin-skt@pref.yamanashi.lg.jp

山梨県立男女共同参画推進センター

●ぴゅあ総合：〒400-0862 甲府市朝気1-2-2 Tel. 055-235-4171

●ぴゅあ峡南：〒409-2305 南巨摩郡南部町内船9353-2 Tel. 0556-64-4777

●ぴゅあ富士：〒402-0052 都留市中央3-9-3 Tel. 0554-45-1666